

個別面談結果報告書

〈離半島部〉

平成 25 年 2 月

女 川 町

目 次

1. 調査の概要	
1.1 目的	1
1.2 実施内容	2
2. 集計結果	
2.1 対象者の属性	3
2.2 移転先希望	5
2.3 土地の買い取り希望	12
3. 自由意見	
3.1 まちづくりへの要望	13
3.2 住まいを決める上での要望・悩み	14

1. 調査の概要

1.1 目的

震災時に女川町離半島部の被災地に居住されていた世帯を対象として、住宅や事業の再建、土地利用に関する具体の意向を個別に聞き取り、今後の生活の方向を考える資料となる「移転先希望」、「土地の買い取り希望」、「土地に関する意向」、「自由意見」等を把握し、それらに対する支援等の情報提供を行うことを目的として調査を行いました。

個別面談は、次のような方針で行いました。

- 町民のみなさまとの対面式とする。
- 復興計画や各種支援の情報提供を行うことで、町民のみなさまの日頃の不安を解消する。
- 各世帯の状況（世帯構成人員、家族の意向、収入等）に応じた住宅再建意向を確認する。
- 震災前に住んでいた土地の所有状況（抵当権の有無、残債、相続手続き）、土地買取りの可能性を確認する。

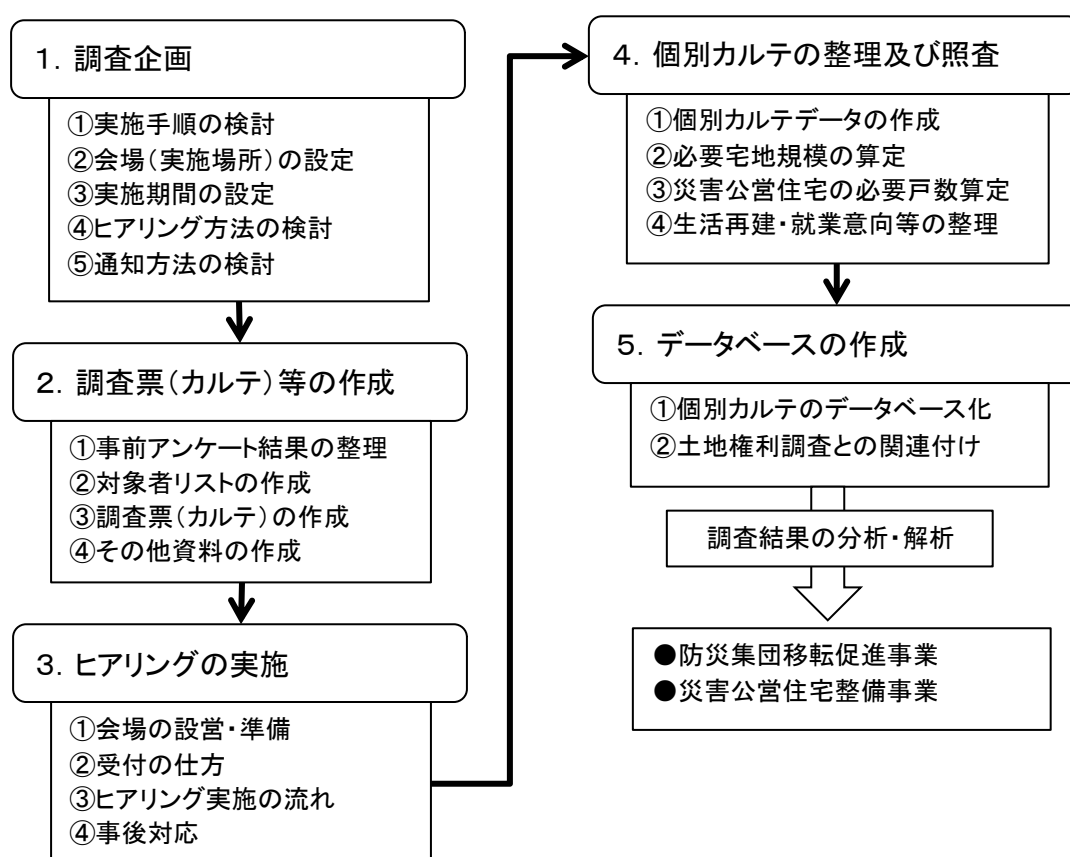


図 個別面談と各種検討の関係（実施フロー）

1.2 実施内容

(1) 対象者および調査方法

項目	内容
調査対象	震災時に女川町離半島部の被災地に居住されていた世帯
調査方法	個別面談（会場での面談、戸別訪問による面談 等）
調査時期	<p>平成 24 年 7 月 9 日～8 月 9 日</p> <ul style="list-style-type: none"> 7/ 9～8/2 : 個別訪問 7/15～8/9 : 会場にて面談実施（女川第一小・仙台・大崎） <p>（ただし、事情により期間中に面談できなかった世帯などは、町民野球場事務室・役場にて引き続き面談実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的に平成 24 年 9 月末に集計を実施 ・高台移転の戸数を確認するため、移転希望先について追加調査を実施（H24. 8. 9～H25. 2. 12）

(2) 回答者の状況

項目	居住者(世帯主)		
	平成 24 年 9 月 30 日現在	平成 24 年 12 月 18 日現在	平成 25 年 2 月 12 日現在
対象世帯数	742	737	737
回収世帯数	716	733	733
回収率	96.5%	99.5%	99.5%

注) 移転先の設計に反映するため、「2.2(4)離半島部 地区ごとの移転先」は追加調査を行い、その結果を集計数とした。

参考) 設問別の集計数の整理

項目	集計数	集計時点	備考
2.1(1)年齢	742	平成 24 年 9 月 30 日	戸別面談結果の集計
2.1(2)震災前住所			
2.1(3)現住所			
2.1(4)世帯構成人員			
2.2(1)移転希望先と町内 在住希望世帯の内訳	737	平成 24 年 12 月 18 日	追加調査結果の集計 世帯合併等により世帯数が変動 H25.1 末高台移転希望の変更締切
2.2(2)町内居住希望者の 年齢(世帯構成人員)		平成 25 年 2 月 12 日	
2.2(3)町外居住希望者の 年齢(世帯構成人員)			
2.2(4)離半島部 地区ご との移転先	742	平成 24 年 9 月 30 日	戸別面談結果の集計
2.3 土地の買い取り希望			
3 自由意見			

2. 集計結果

2.1 対象者の属性

(1) 年齢（世帯主）

世帯主の年齢層については60～64歳が最も多く全体の約15%を占めます。また、60歳以上の世帯主が全体の約60%を占め高齢化が進んでいることがわかります。

(2) 震災前住所

行政区別（大字）の構成（世帯）は、塚浜 54 世帯、小屋取 24 世帯、飯子浜 32 世帯、大石原浜 10 世帯、野々浜 27 世帯、高白浜 31 世帯、横浦 41 世帯、竹浦 68 世帯、尾浦 81 世帯、御前浜 62 世帯、指ヶ浜 33 世帯、桐ヶ崎 29 世帯、寺間 96 世帯、出島 99 世帯、江島 55 世帯となります。

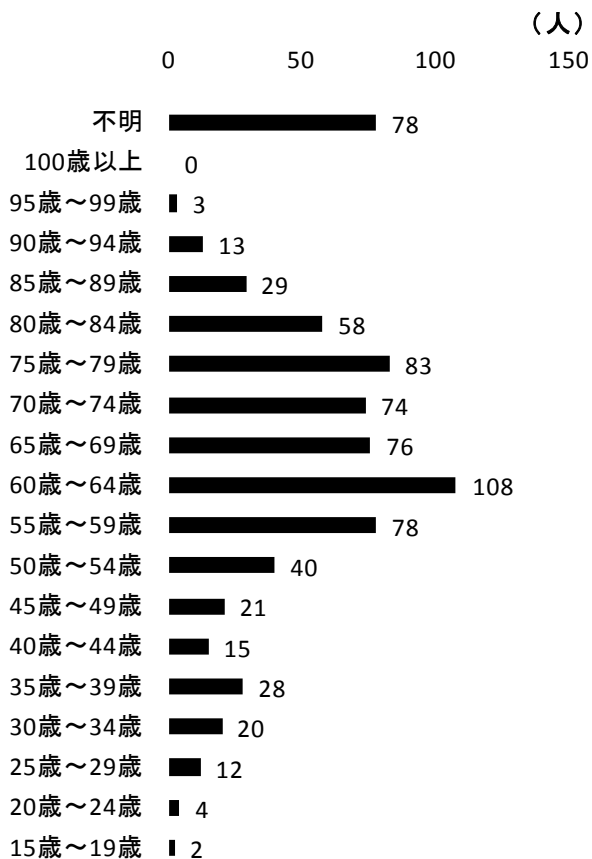


図 年齢（世帯主）

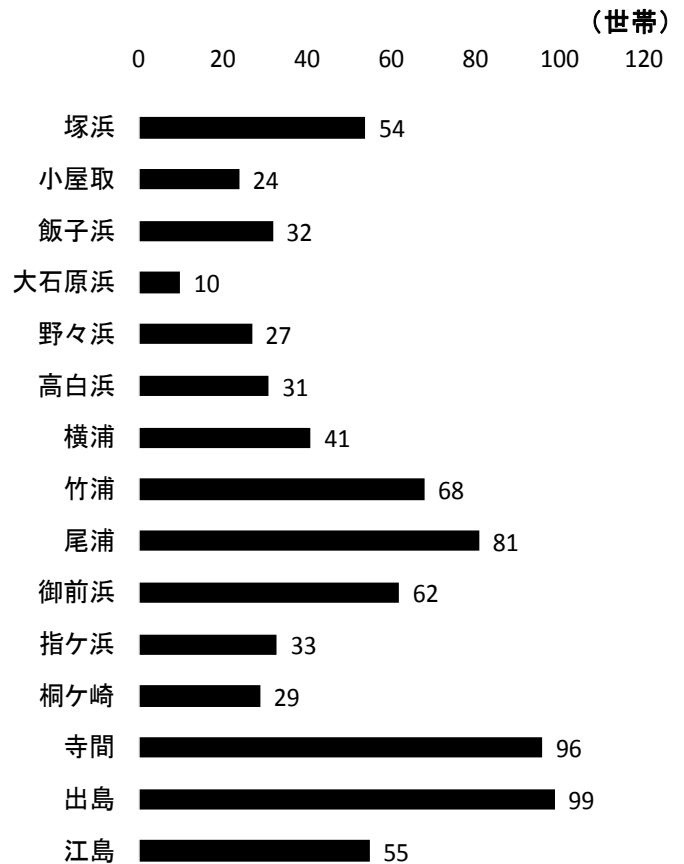


図 震災前住所（行政区）

(3) 現住所

現住所は、女川町と町外（女川町以外）が概ね半分ずつを占めています。町外では、宮城県内の石巻市が最も多く全体の約33%、宮城県外は約3%となっています。（全体742世帯）

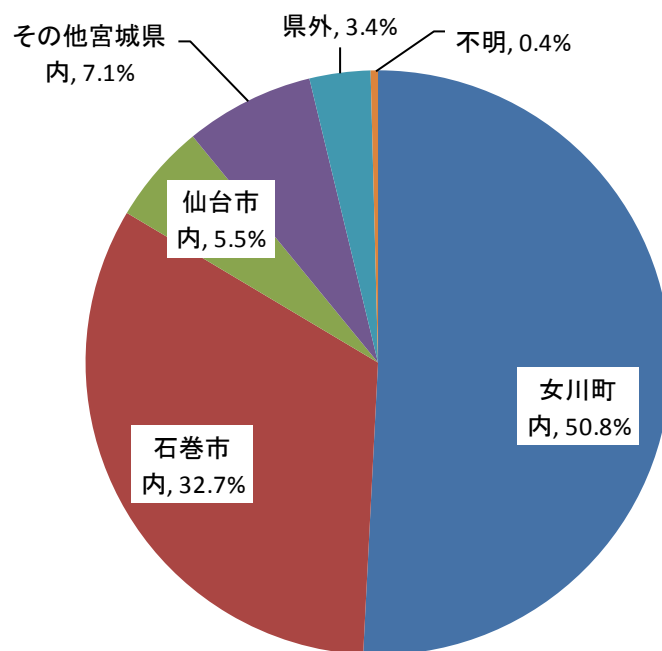


図 現住所

(4) 世帯構成人員

単身世帯（1人）が約29%と最も多く、3人以下では全体の約75%を占めています。（全体742世帯）

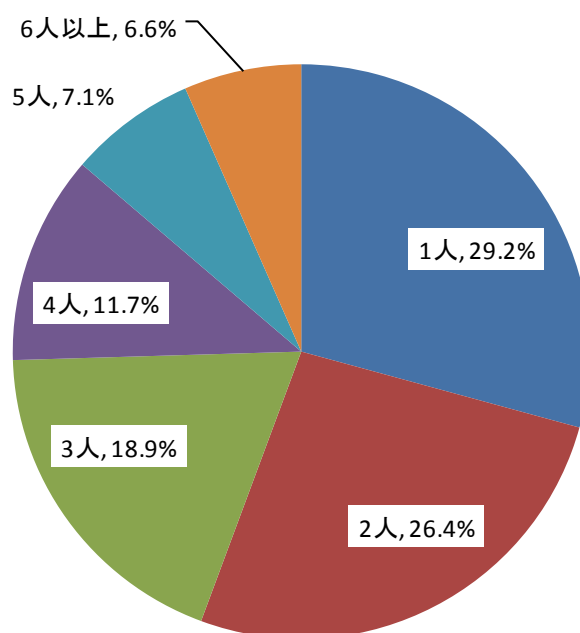


図 世帯構成人員

2.2 移転先希望

(1) 移転希望先と町内在住希望世帯の内訳

町内居住希望は、511世帯（68.9%）であり、次いで181世帯（24.4%）が町外移転を希望しています。（全体742世帯）

町内居住希望世帯のうち、半数以上の264世帯（51.7%）が災害公営住宅を希望しています。

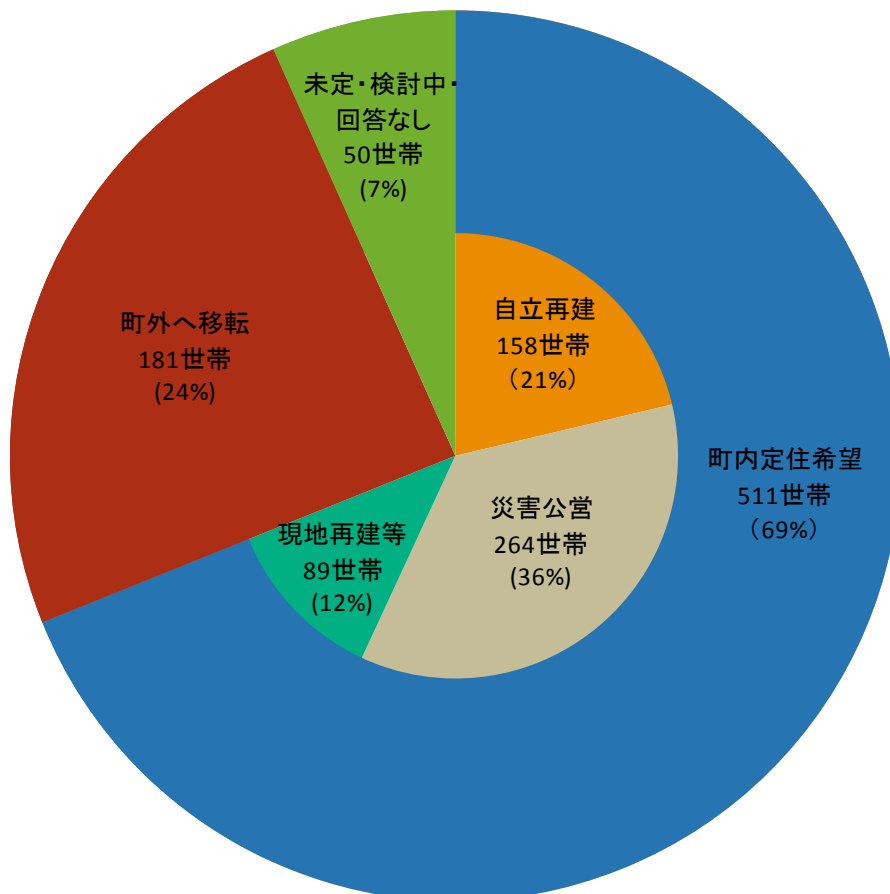


図 移転先希望（N=742）

(2) 町内居住希望者の年齢（世帯構成人員）

全体で最も割合が高いのは60～64歳代で約16%を占めています。また、世代毎では20歳未満が約0%、20・30歳代が約9%、40・50歳代が約22%、60歳以上が約64%を占めています。

(3) 町外居住希望者の年齢（世帯構成人員）

全体で最も割合が高いのは60～64歳代で約13%を占めています。また、世代毎では20歳未満が約1%、20・30歳代が約11%、40・50歳代が約22%、60歳以上が約53%を占めており、町内居住希望の方の高齢者の割合が多くなっています。

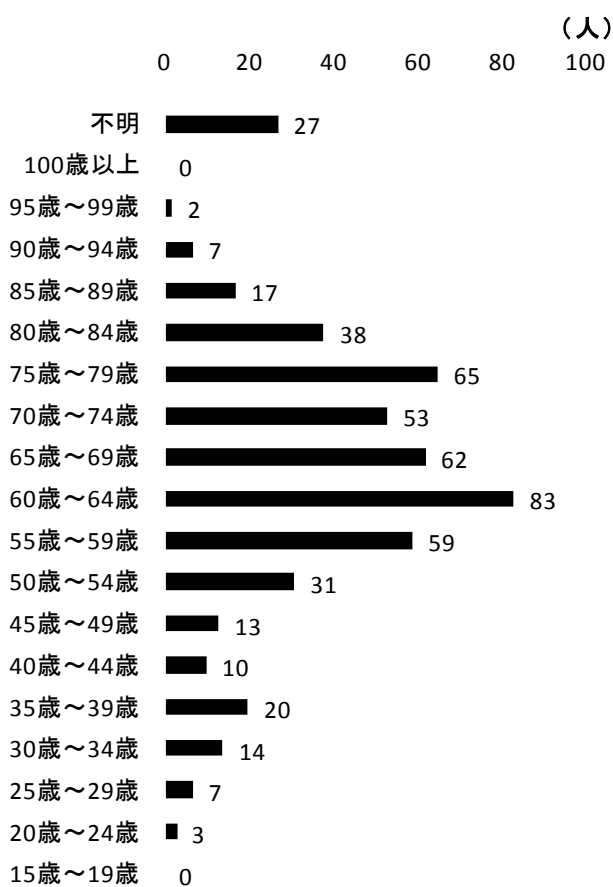


図 町内居住希望者の年齢（世帯構成人員）

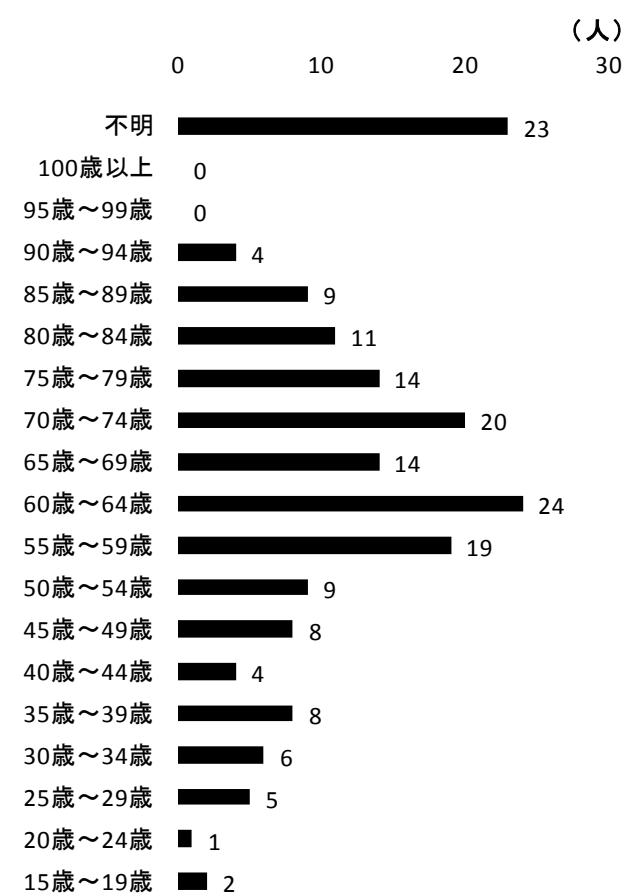


図 町外居住希望者の年齢（世帯構成人員）

帯構成人員)

(4) 離半島部 地区ごとの移転先

全体として、高台での自立再建と災害公営住宅の希望が6割弱となっています。

高台への移転希望が6割を下回っているのは、高白浜、小屋取、出島、寺間、江島となっています。高白浜は町中心部に近く元々行政区外に通勤する人が多かったこと、小屋取、江島は他行政区に比べ津波被害が少なく現地再建希望者が多いこと、出島、寺間、江島は離島であり通院や通学の事情で町外への移転希望者が多いことなどが要因と考えられます。

表 地区ごとの移転先

	指ヶ浜	御前浜	尾浦	竹浦	桐ヶ崎	高白浜	横浦	大石原	野々浜	飯子浜	塚浜	小屋取	出島	寺間	江島	計
離半島部の高台	20 60.6%	22 35.5%	47 58.0%	36 52.2%	18 62.1%	14 48.3%	19 46.3%	3 30.0%	7 28.0%	19 59.4%	14 25.9%	3 12.5%	28 28.6%	12 12.5%	0 0.0%	262 35.5%
①自立再建	11 33.3%	14 22.6%	23 28.4%	24 34.8%	6 20.7%	4 13.8%	6 14.6%	2 20.0%	4 16.0%	15 46.9%	13 24.1%	1 4.2%	3 3.1%	3 3.1%	0 0.0%	129 17.5%
②災害公営	9 27.3%	8 12.9%	24 29.6%	12 17.4%	12 41.4%	10 34.5%	13 31.7%	1 10.0%	3 12.0%	4 12.5%	1 1.9%	2 8.3%	25 25.5%	9 9.4%	0 0.0%	133 18.0%
現地再建	0 0.0%	3 4.8%	1 1.2%	3 4.3%	1 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 54.2%	2 2.0%	18 18.8%	27 50.0%	68 9.2%
③既に再建済み	0 0.0%	3 4.8%	1 1.2%	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 41.7%	0 0.0%	16 16.7%	17 31.5%	48 6.5%
④今後再建予定	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.9%	1 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 12.5%	2 2.0%	2 2.1%	10 18.5%	20 2.7%
中心部の高台	3 9.1%	18 29.0%	13 16.0%	9 13.0%	2 6.9%	3 10.3%	12 29.3%	3 30.0%	12 48.0%	7 21.9%	26 48.1%	4 16.7%	23 23.5%	32 33.3%	5 9.3%	172 23.3%
⑤自立再建	0 0.0%	3 4.8%	3 3.7%	3 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	5 12.2%	0 0.0%	2 8.0%	1 3.1%	7 13.0%	1 4.2%	2 2.0%	7 7.3%	0 0.0%	34 4.6%
⑥災害公営	3 9.1%	15 24.2%	10 12.3%	6 8.7%	2 6.9%	3 10.3%	7 17.1%	3 30.0%	10 40.0%	6 18.8%	19 35.2%	3 12.5%	21 21.4%	25 26.0%	5 9.3%	138 18.7%
個別移転	4 12.1%	11 17.7%	11 13.6%	16 23.2%	4 13.8%	6 20.7%	6 14.6%	2 20.0%	2 8.0%	3 9.4%	9 16.7%	2 8.3%	32 32.7%	19 19.8%	4 7.4%	131 17.8%
⑦町内民間住宅	1 3.0%	0 0.0%	2 2.5%	0 0.0%	1 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.2%	1 1.0%	1 1.0%	0 0.0%	7 0.9%
⑧町外	3 9.1%	8 12.9%	7 8.6%	11 15.9%	3 10.3%	5 17.2%	5 12.2%	2 20.0%	2 8.0%	3 9.4%	7 13.0%	1 4.2%	26 26.5%	18 18.8%	3 5.6%	104 14.1%
⑨高齢者福祉施設等	0 0.0%	3 4.8%	2 2.5%	5 7.2%	0 0.0%	1 3.4%	1 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.7%	0 0.0%	5 5.1%	0 0.0%	1 1.9%	20 2.7%
既に新しい生活を開始	6 18.2%	8 12.9%	9 11.1%	5 7.2%	4 13.8%	6 20.7%	4 9.8%	2 20.0%	4 16.0%	3 9.4%	5 9.3%	4 4.2%	13 13.3%	15 15.6%	15 27.8%	100 13.6%
⑩町外	5 15.2%	8 12.9%	9 11.1%	5 7.2%	2 6.9%	6 20.7%	4 9.8%	0 0.0%	4 16.0%	3 9.4%	4 7.4%	1 4.2%	12 12.2%	13 13.5%	10 18.5%	86 11.7%
⑪女川中心部	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	0 0.0%	1 1.0%	2 2.1%	4 7.4%	11 1.5%
⑫女川離半島部	1 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	3 0.4%
⑬意向未確認の世帯	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.6%	4 0.5%
合計	33 100.0%	62 100.0%	81 100.0%	69 100.0%	29 100.0%	29 100.0%	41 100.0%	10 100.0%	25 100.0%	32 100.0%	54 100.0%	24 100.0%	98 100.0%	96 100.0%	54 100.0%	737 100.0%

※平成24年12月18日時点

高台の計画を確定させるため、平成25年1月末締切で高台への移転希望の変更について調査した結果は、下表のとおりとなっています。

	指ヶ浜	御前浜	尾浦	竹浦	桐ヶ崎	高白浜	横浦	大石原	野々浜	飯子浜	塚浜	小屋取	出島	寺間	江島	合計
自立再建	11 52.4%	12 63.2%	24 52.2%	25 69.4%	7 41.2%	3 23.1%	8 50.0%	2 66.7%	3 42.9%	15 83.3%	14 100.0%	1 25.0%	3 10.7%	2 16.7%	0 0.0%	130 50.6%
災害公営	10 47.6%	7 36.8%	22 47.8%	11 30.6%	10 58.8%	10 76.9%	8 50.0%	1 33.3%	4 57.1%	3 16.7%	0 0.0%	2 50.0%	25 89.3%	10 83.3%	0 0.0%	123 47.9%
検討中 未確認	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	4 1.6%
計	21 100.0%	19 100.0%	46 100.0%	36 100.0%	17 100.0%	13 100.0%	16 100.0%	3 100.0%	7 100.0%	18 100.0%	14 100.0%	4 100.0%	28 100.0%	12 100.0%	3 100.0%	257 100.0%

※平成25年2月12日時点

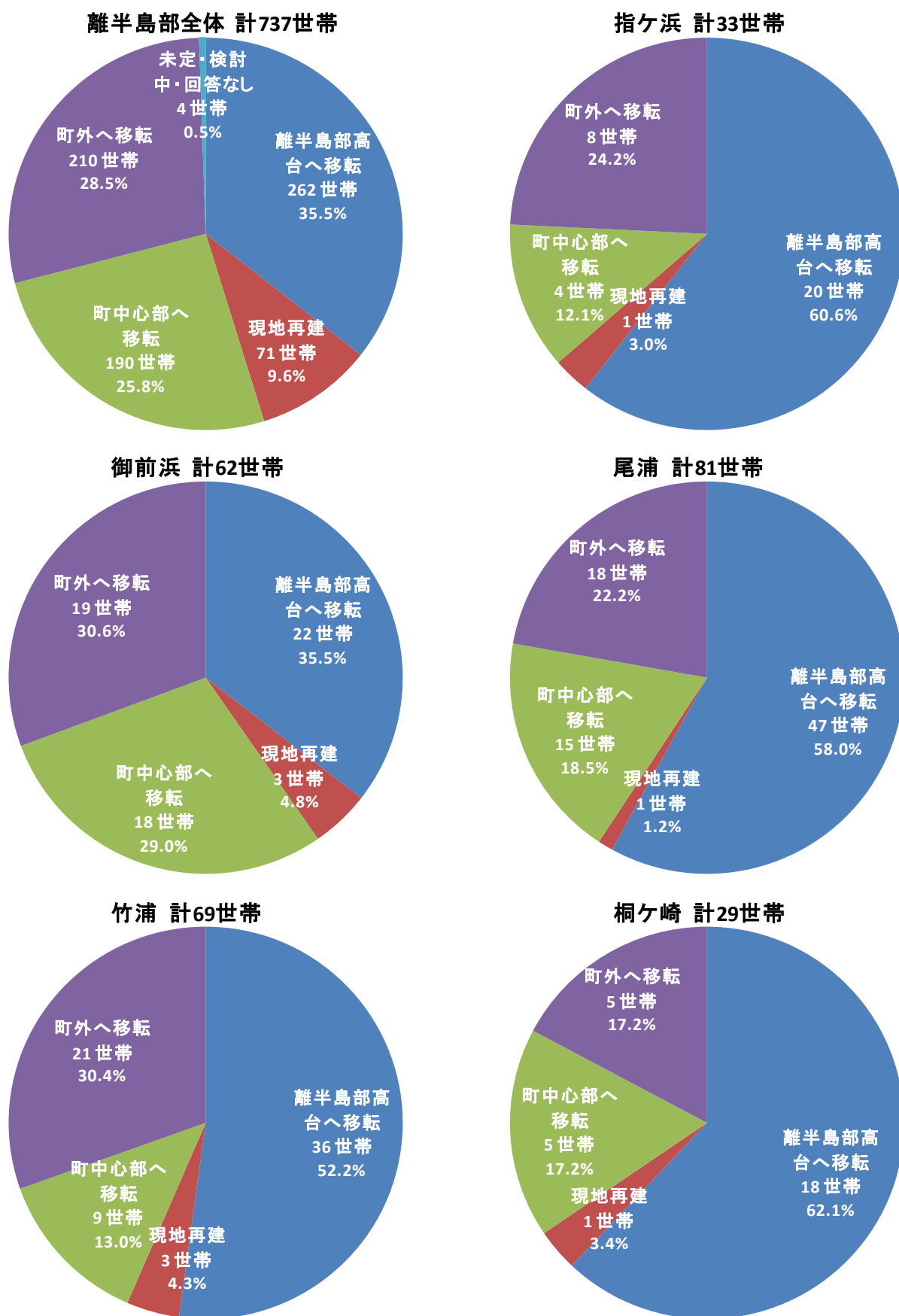


図 住宅再建意向（1：全体および地区別）

※平成24年12月18日時点

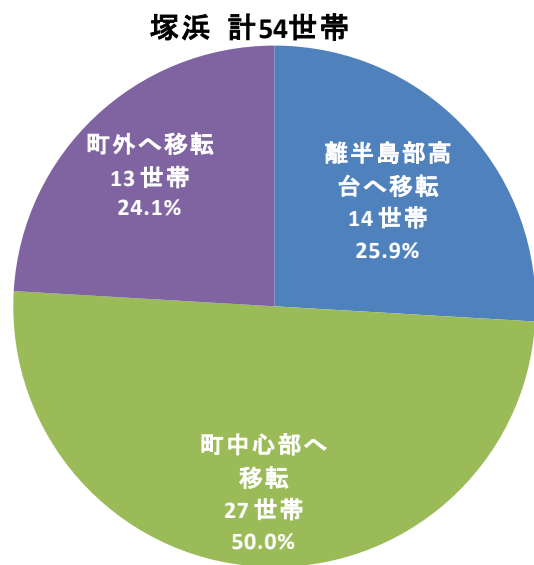
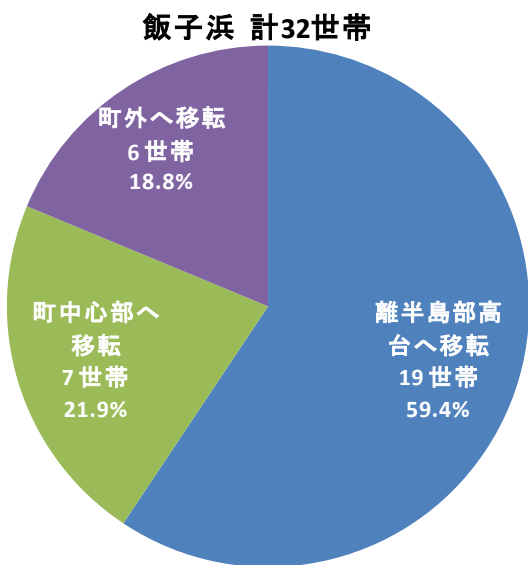
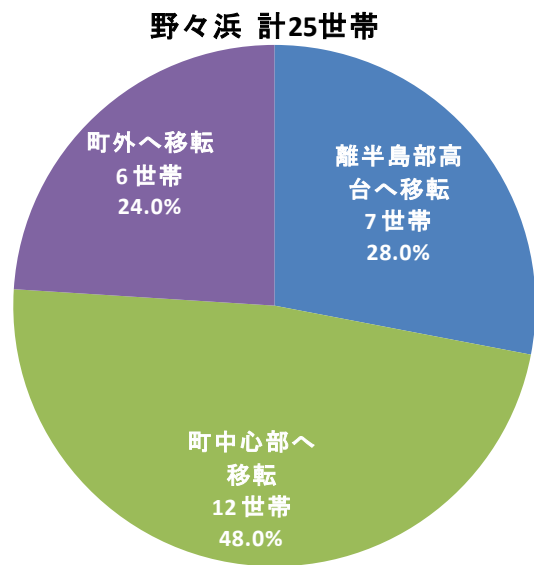
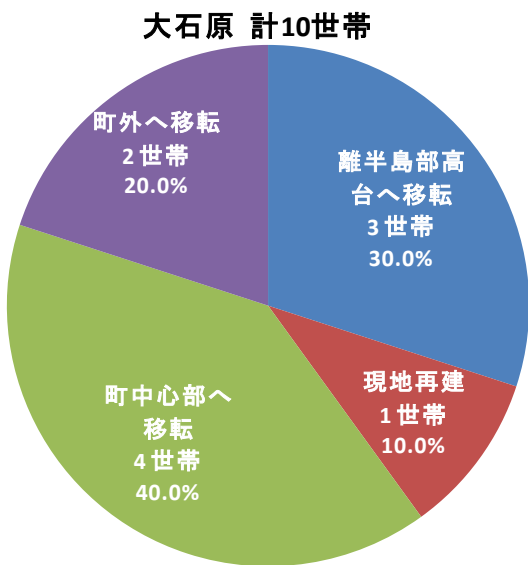
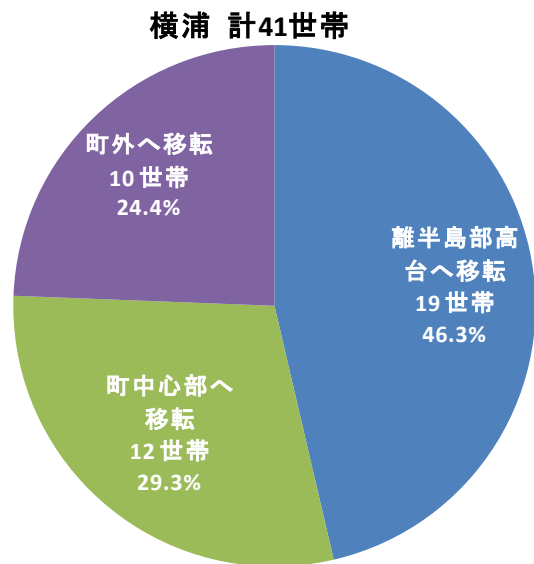
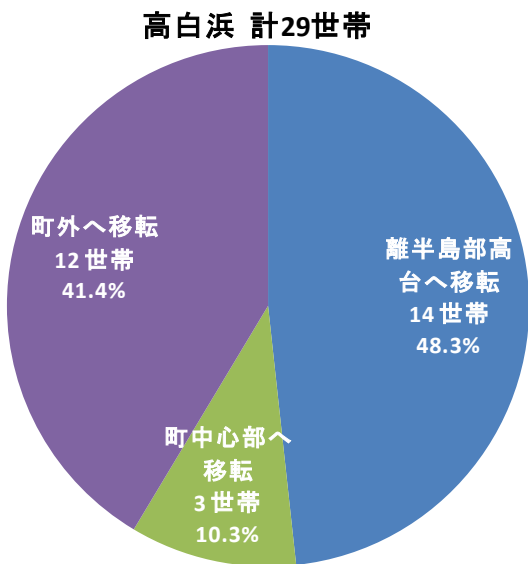


図 住宅再建意向（2：地区別）

※平成24年12月18日時点

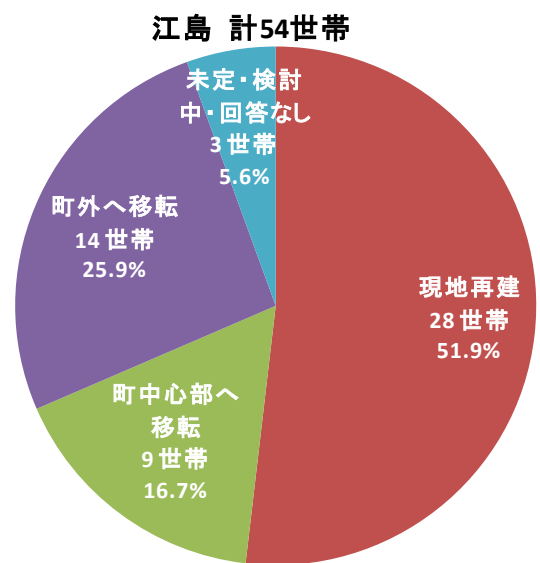
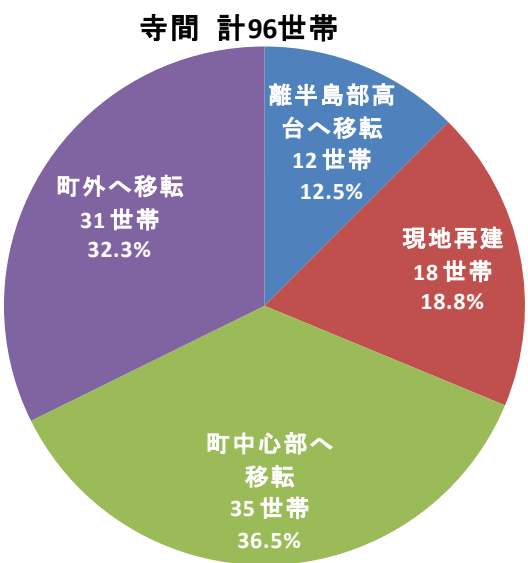
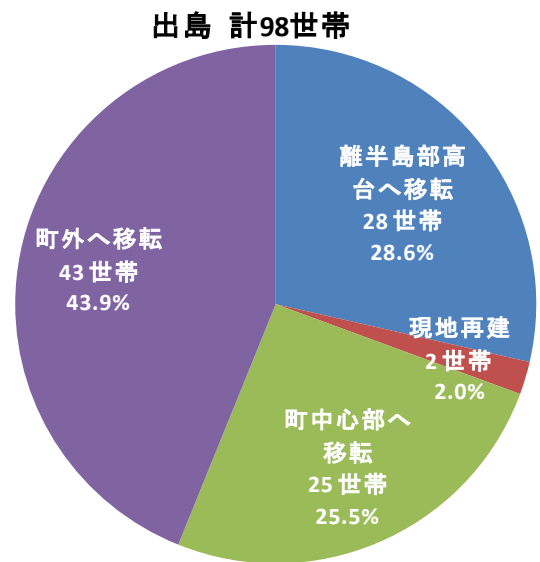
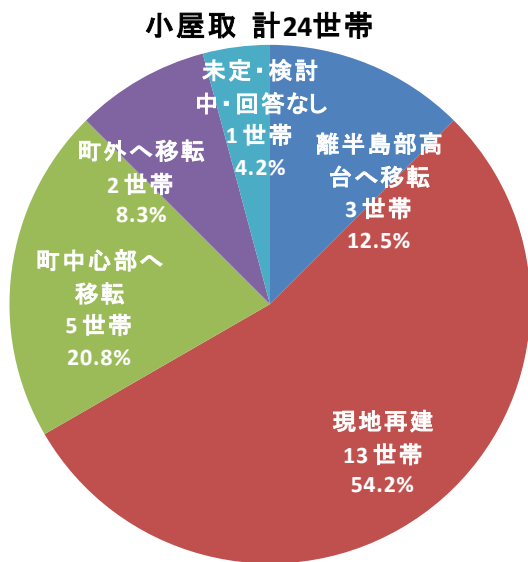
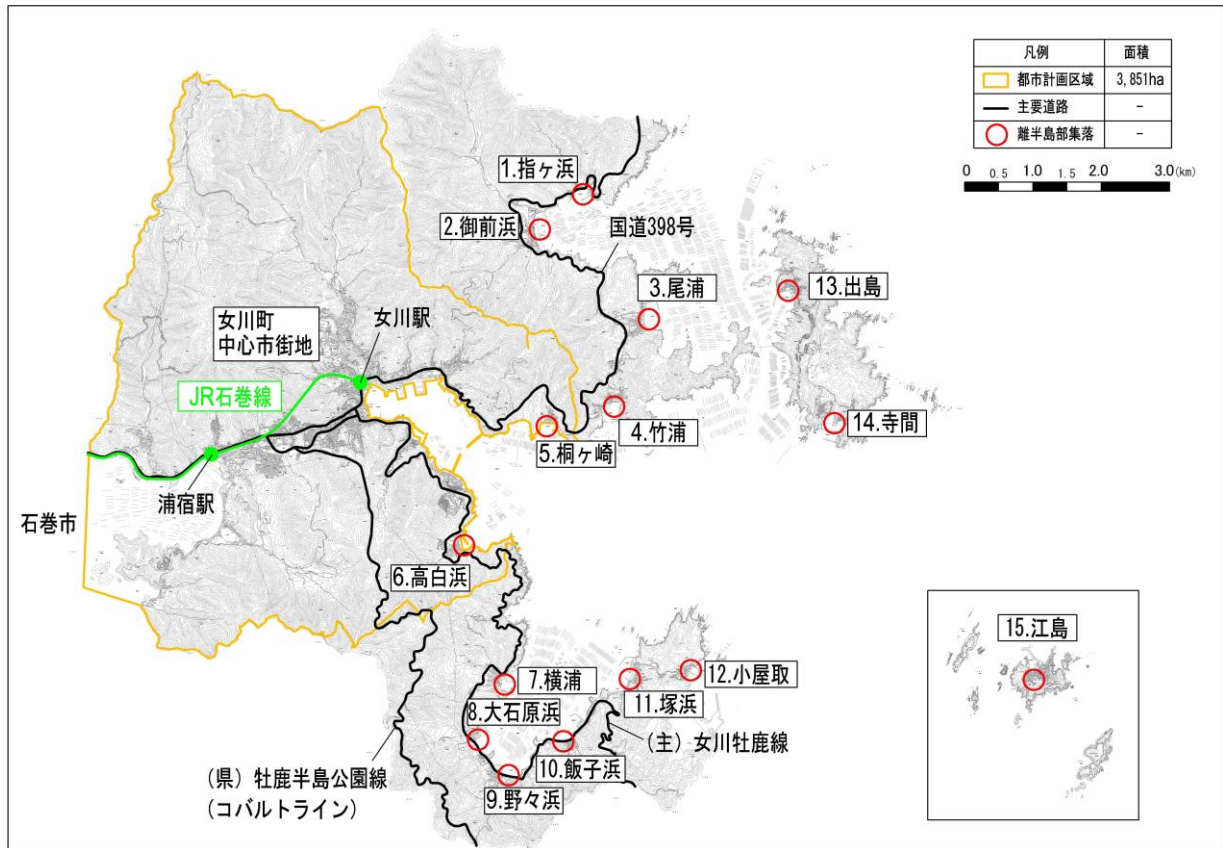


図 住宅再建意向（3：地区別）

※平成24年12月18日時点

(5) 位置図



離半島部各行政区位置図

2.3 土地の買い取り希望

全体的に買取希望される方は、全体の約 50%程度を占めています。

買取希望される方が 5 割を下回っているのは、竹浦、小屋取、出島、寺間、江島となっています。

買取希望の割合と行政区ごとの特性の関連は明確ではありませんが、高台移転の計画や浜の再生計画が決まっていない中で、まだ意向を決めかねている方も多くいるものと考えられます。

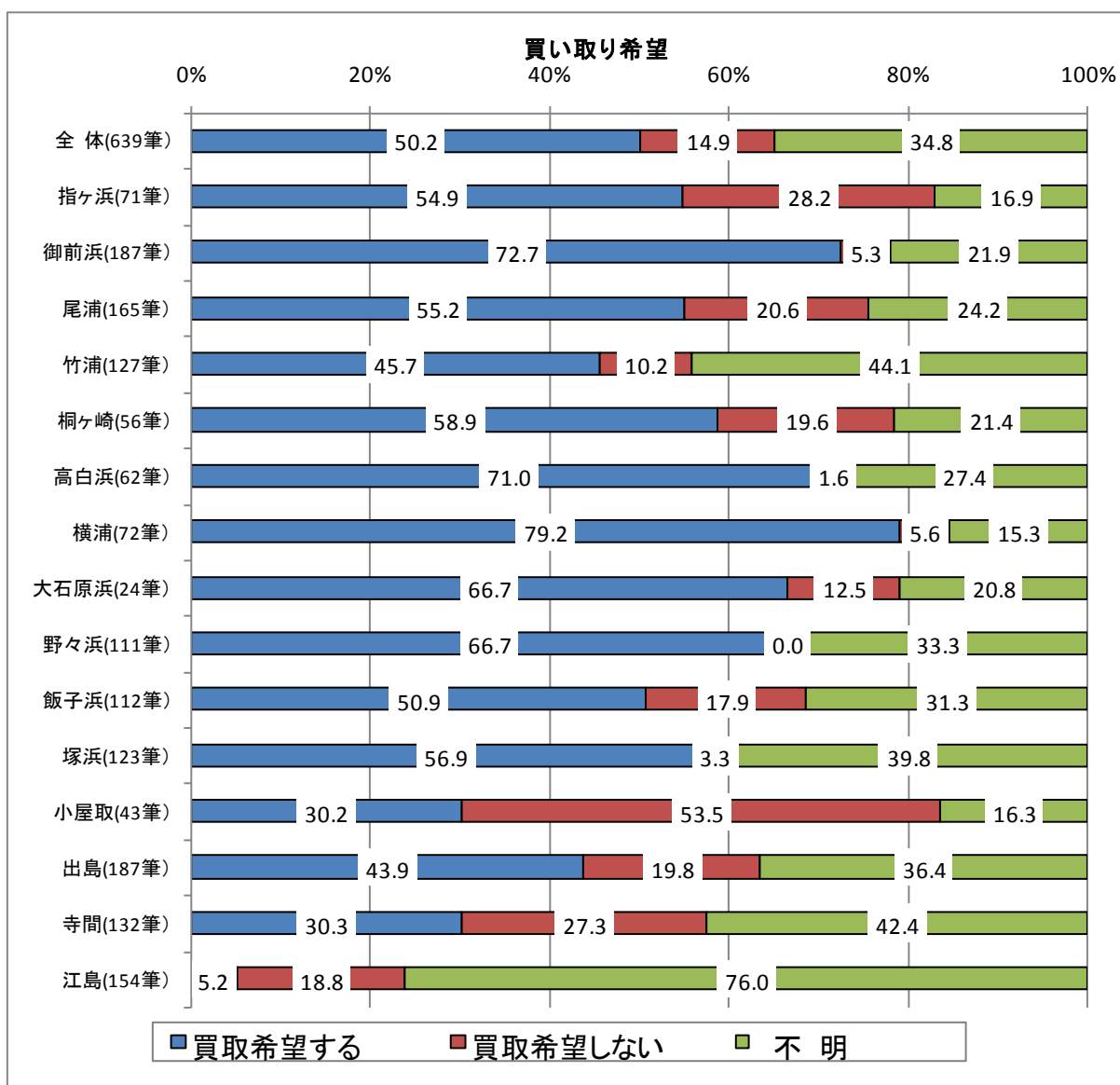


図 土地の買い取り希望

3. 自由意見

3.1 まちづくりへの要望

下図のグラフは、面談時にまちづくりへの要望として自由意見をまとめたものとなります。公益施設（バスなど公共交通機関含む）に関する意見、事業計画に関する意見が特に多い意見として挙げられます。

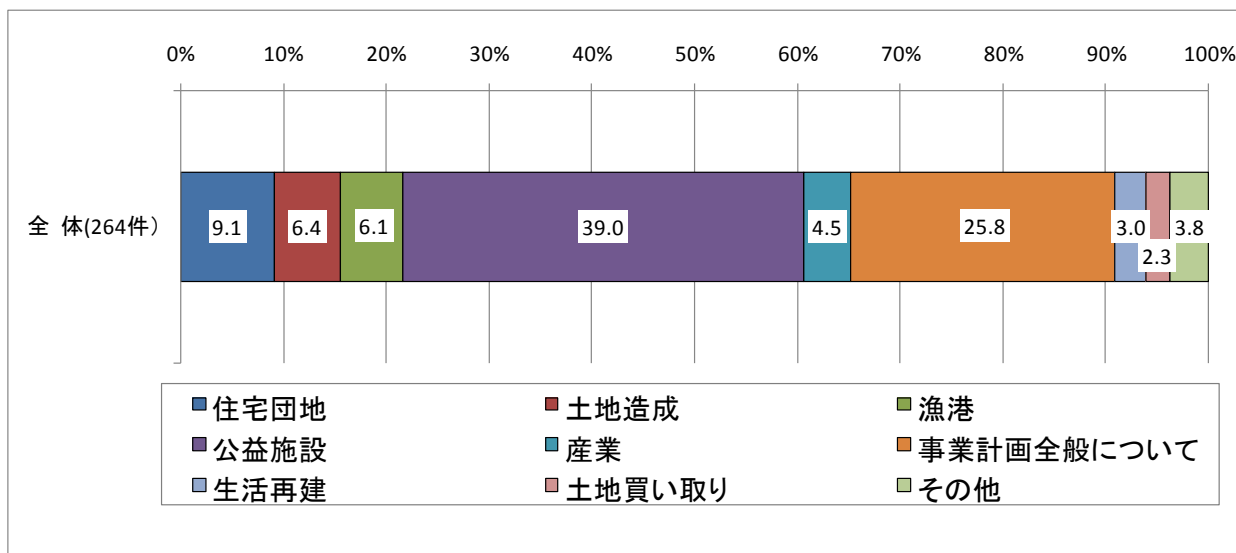


図 まちづくりへの要望（自由意見）

住宅団地について

・高台移転に伴い、高齢者などの移動手段の確保が必要、などの意見が多くなっています。

土地造成について

・早期の土地造成を望む声が多くなっています。
・浸水した浜の土地について、嵩上げて安全な土地とすることを望む声が多くなっています。

漁港について

・岸壁や船の係留施設、照明施設など、漁港施設の早期復旧・整備を望む声が多くなっています。

公益施設について

・道路の復旧・整備（片側交互通行区間の解消）、バスの便の充実、鉄道の復旧、（離島の場合）架橋の実現など、交通手段の確保・充実に望む声が多くなっています。
・離島を中心に、水道施設や診療所など、生活に欠かせない施設の復旧が望まれています。

産業について

・漁業関係の作業施設や倉庫、冷凍庫、加工所といった施設の要望が多くなっています。
・豊かな自然環境を利用したキャンプ場やサイクリングロード整備などの要望もあります。

事業計画全般について

・早期の事業進捗を望む声が多くなっています。
・安全なまちづくりに関する意見が多くなっています。

生活再建について

・仕事がなく、離半島部に戻れないという意見が多くなっています。
・持病があり、病院に近い所に住みたいという意見が多くなっています。

土地買い取りについて

・買取価格への不満、宅地以外の土地も買い取ってほしいなどの意見が出ています。

その他町への要望について

・原発に依存しないまちづくりを望む声があります。
・町外に避難している方で、町の情報が少ないという意見が出ています。

3.2 住まいを決める上での要望・悩み

下図のグラフは、面談時に住まいを決める上での要望・悩みとして自由意見をまとめたものとなります。住宅団地の具体的内容やまちづくりに関する悩みが多くなっています。

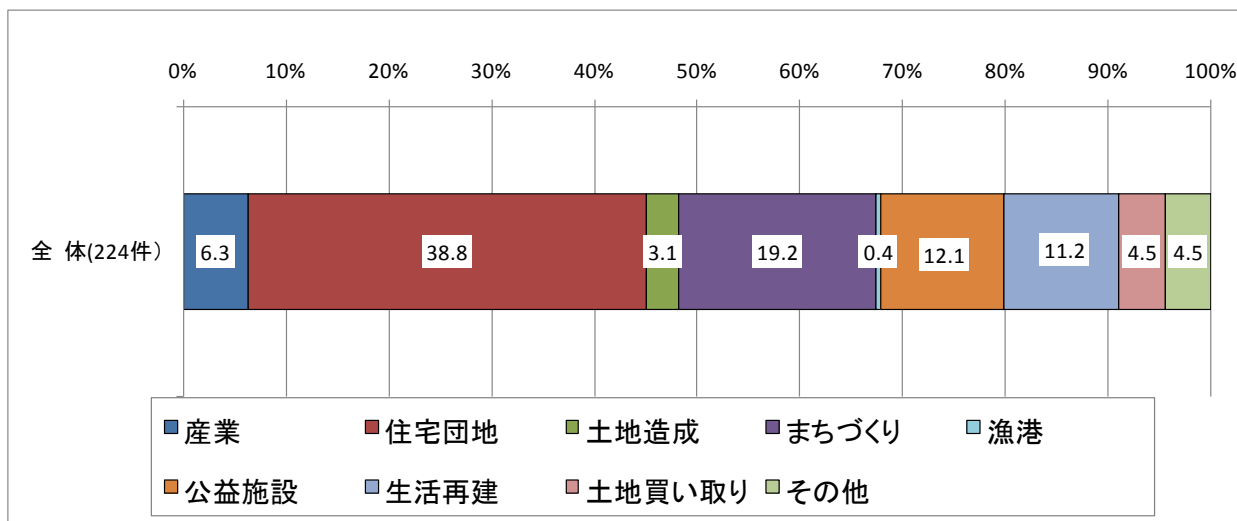


図 住まいを決める上での要望・悩み（自由意見）

産業について

- ・漁業の早期再開を望む声が多くなっています。
- ・女川町に職場がなく戻れないという意見があります。

住宅団地について

- ・住宅団地の早期整備を望む声が多くなっています（整備時期が明確にならないと、高台移転への要望を決められない）。
- ・中心部の災害公営住宅を希望しているが、元の地区の人の近所に入居を望む声が多くなっています。
- ・資金面の負担が大きく、不安を感じている方も多くいらっしゃいます。

まちづくりについて

- ・生活に必要な商店や小中学校、医療機関の近隣に住みたい、あるいは高台団地に整備してほしいという要望が多くなっています。
- ・福祉面の充実、バリアフリーへの配慮などの要望が多く出ています。

公益施設について

- ・道路の整備、バス・福祉バスの充実など交通手段の確保が住まいを決める上での条件になるという方が多くいらっしゃいます。
- ・浜から高台への避難路を確保してほしいという意見が多くなっています。

生活再建について

- ・残っているローンをどうすればよいか悩んでいる方が多くいらっしゃいます。
- ・新たなローンが組めるか、不安を感じている方が多くなっています。
- ・病院への通院を生活再建の条件として挙げている方が多くなっています。

土地買い取りについて

- ・土地の買取を希望しており、早く買い取ってほしいという意見が多くなっていますが、一方で土地は売らずに自ら活用したいという意見も出ています。

その他について

- ・仮設住宅での生活上の悩みを訴える意見があります。
- ・建築する時期の大工さんの不足を懸念する意見があります。